

E-KIZUNAプロジェクト

さいたま市 産業施策-10年の歩み

2010年度実績

業種・企業名	立地した機能	立地場所
ソフトウェア設計開発、検査装置製造 ・パシフィックシステム(株)	本社機能 研究開発機能	桜区田島
自動車部品製造業 ・株ジューテック(旧菊池プレス工業)	本社機能	大宮区 桜木町
自動車用ワイヤーハーネス、電線、 電気機器部品等製造 ・住友電装(株)	研究開発機能	大宮区 桜木町
ソフトウェア設計開発、 情報処理サービス ・AGS(株)	研究開発機能	市内
カーオーディオ、 カーナビ等車載機器製造 ・クラリオン(株)	研究開発機能 ※市外からの集約 拡大	中央区 新都心

合併や政令指定都市への移行を期に独自の産業施策を打ち出してきたさいたま市。さいたま市産業創造財団の設立やさいたま市テクノカナルブランド企業認証事業など、市内企業との接点を一層深めることで、企業間連携の形成や企業誘致につなげた。産業都市としての新たなイメージを構築しつつある。さいたま市

このこれまでの産業施策の歩みと今後の方針を追った。

07年の3カ年で38件、08-10年の3カ年で37件と堅調に推移している。特に研究開発機能の誘致が多いのが特徴だ。市の産業施策が大きく転換したのが、04年の「産業振興ビジョン」の策定だ。03年の政令指定都市への移行をきっかけに、研究開発機能の設置を決めた。04年から企業誘致を本格的に強化し始め、05-

さいたま市は他の自治体や産業界と連携し電気自動車(EV)の普及、インフラを整備する「E-KIZUNAプロジェクト」に取り組んできた。東日本大震災はガソリン、電力不足など災害時のエネルギー供給に関する課題が浮き彫りになった。これを受け11年度は、災害などどのような状況下であっても、エネルギーを確保できるエネルギーセキュリティを目標とする。

東日本大震災直後の3月20日、市は公用車として使う日産自動車製EV「リーフ」を3台、仙台市に派遣した。製造所の火災、道路等の損壊で物流機能が停止。燃料供給がひっ迫し、仙台市は公用車の使用が難しい状況下にあった。

仙台市は昨年4月の30日、市は公用車として使う日産自動車製EV「リーフ」を3台、仙台市に派遣した。製造所の火災、道路等の損壊で物流機能が停止。燃料供給がひっ迫し、仙台市は公用車の使用が難しい状況下にあった。

エネルギーを安定供給できる環境作りの重要性に改めて気づかされた(同)。このため、11年度は次世代自動車などをうまく使いながら、エネルギーセキュリティに注力する方針を決定した。23日にはホンダと

協定を結び、EVやさまざまなエネルギー供給源を利用し、災害に強い都市を構築することを目指す。12年度には、太陽光パネルや家庭用ガスコージェネレーター、蓄電池などを備えた住宅を市内に建設する。住宅にホンダの



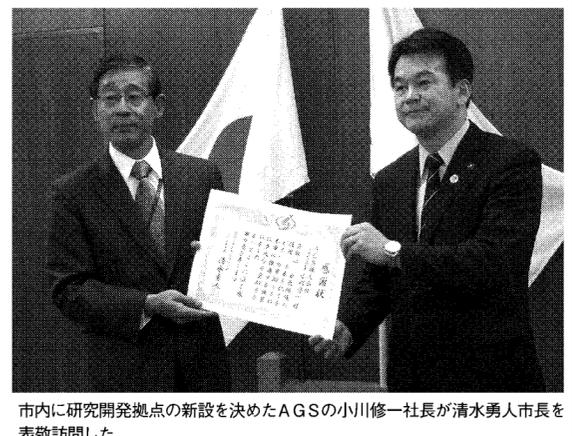
ホンダスマートホームシステムの実証実験を共同で進めるホンダの伊東孝紳社長と清水勇人市長。

仙台市に公用車を3台派遣

企業誘致が堅調、海外市場開拓へ

産業界に結びつけようとして、市内モブづくり企業の支援や、企業誘致活動など具体的な方針を決めた。04年に自前の産業支援機関であるさいたま市産業創造財団を設立。創業支援、経営支援など市内企業への支援体制を整えた。「合併前で活用しているE-KIZUNAプロジェクトや産業界と連携しながら積極的にEV普及の整備を進めてきた中、「震災を目的に」

今後、注力するのは市内企業の国際競争力向上に向けた取り組み。今年度から日本貿易振興機構のツクルスターと地域間交流事業を始め、技術力のある市内企業が、同じく先端技術でリードするドイツ企業に自社技術を活用し、海外展開支援を強化し、市内企業を国内外に向けて情報発信。次世代を見通し、産産都市として発展を目指す。



市内に研究開発拠点の新設を決めたAGSの小川修一社長が清水勇人市長を表敬訪問した。

さいたま市幹部に

「災害にも強い環境未来都市」を目指して

近年、環境問題に温暖化防止施策を推進する中、3つの環境目標を掲げ、環境局長 代田 龍葉氏

「子どもを応援する」

近年、核家族化や都市化等、社会環境の急激な変化により、市民の価値観やニーズが多様化している。子ども未来局長 榎本 誠氏

「環境未来都市」を目指して

近年、環境問題に温暖化防止施策を推進する中、3つの環境目標を掲げ、環境局長 代田 龍葉氏

「子どもを応援する」

近年、核家族化や都市化等、社会環境の急激な変化により、市民の価値観やニーズが多様化している。子ども未来局長 榎本 誠氏

「安心・安全な生活基盤を守る」

建設局長 松澤 正巳氏

「魅力ある都市の実現」

都市局長 中野 君男氏

「力強い地域経済の実現に向けて」

経済局長 森田 治氏

「歩進んだ輝きと魅力ある都市の実現」

都市局長 中野 君男氏

High Quality High Accuracy Low Price Technology

複合切削工具のパイオニア

豊富なオリジナル品と受注制作による特殊刃具であらゆるニーズにお答えします

信頼を裏切らない
創業以来一貫して特殊刃具の受注生産を続け、高精度 高速ドライ 難削材加工といった様々なニーズにきめ細かく対応。

優れた技術を支える
営業と一体となった優れた創造的なエンジニアが、多様なユーザーニーズに対応。人・ソフト・ハードの合理的な一貫システム化により、お客様に満足いただけるパワフルな高付加価値商品を生産。

業務内容
超硬・ハイス・PCD・CBN・サーメット・ステンレス 切削工具及び治具の製造販売

株式会社 東洋ドリル
〒340-0001 埼玉県草加市柿木町1796 TEL 048-930-6311(代) FAX 048-930-6312 E-mail web@toyodrill.co.jp

porite Powder Metallurgy Specialist

粉進秒歩で 半世で紀

つねに次代を見つめて、技術開発を続けた半世紀。世界の粉末冶金ブランド「ポーライト」は、いまも進化を続けています。

www.porite.co.jp

ポーライト株式会社 331-0823 さいたま市北区日進町2-121 TEL.048-653-2222 FAX.048-660-1292 熊谷・大阪・名古屋・台湾・シンガポール・マレーシア・中国・香港・ヨーロッパ・アメリカ・タイ

Powder Metallurgy Specialist

OILLESS BEARING / CD-ROM,R.R/W / DVD-ROM,R.R/W / DVD-RAM / DVC / MPU-COOLINGファン / 軸流ファン / 振動モータ / VTR / LBP...など MACHINE PARTS / 自動車・オートバイ・アミューズメント・事務機器・電動工具・農業機械・健康機器・家電製品・工作機械...など